

宮本 仁志 新診療支援部長インタビュー

～部門全体でのスキルアップと、現在・未来の人材確保～

昨年度までは臨床検査技師などを統括する臨床検査技術部門に所属していましたが、この4月から診療支援部長に就任し、13職種140人全体の把握と理解が必要となりました。大所帯ですから責任も大きいですし、近年は臨床現場からの要望が増えてきているので、人員の育成と確保という両面から対策を行っていかねばなりません。我々は専門性の高い職種です。一つの病気に対し、多種多様な治療薬や治療法が開発されている現代において、大学病院として対応するために、チーム医療で関わる医師や看護師と一緒に、私たちもスキルアップする必要があります。13職種全体のスキルレベルの底上げが、私の重要な役割だと考えています。

また、現在だけでなく、将来の人材確保も私の役割の一つだと思っています。愛媛県内の中高生に向けて、診療支援部の仕事がどれほど重要かということを積極的にアピールし、中高生が思い描く将来の選択肢の一つになってほしいと考えています。また、より若い世代にも医療職について興味を持ってもらうため、各種セミナーや職場体験をたくさん開催していきたいと思っています。



インタビューに答える宮本診療支援部長